



by チームきっずせみなあ

2009年版：いろいろな国 いろいろなしごと

～解答&解説～

・・・第1問の答え・・・

答え：1.ドイツ語

＝解説＝

トルコ語の”ヨウルト”がドイツで”ヨーグルト”になって日本につたわりました。

ブルガリアではヨーグルトのことは「キセロ・ムリヤコ」とよびます。直訳（ちよくやく）すると「すっぱい牛乳（ぎゅうにゅう）」となります。

ちなみに、ブルガリアヨーグルトは、ブルガリアから輸入された菌（きん）を使って作られているので、そう呼ばれるそうです。

・・・第2問の答え・・・

答え：2.いぬ

＝解説＝

1.あひるは「コワン コワン」（フランス）、「キヤキヤ」（ロシア）、「クアック」（スペイン）と鳴くそうです。3.うしは、ここにあげた国ではどこも「ムー」と鳴くそうです。

いぬの鳴き声は日本では「ワンワン」がふつうですが、アメリカでは「パウワウ」、韓国かんこくでは「モンモン」、ベトナムでは「ゴーゴー」と鳴くそうですよ。

・・・第3問の答え・・・



答え：1.の文字

＝解説＝

2.の文字は「木」、3.の文字は「水」をあらわしています。

象形文字（しょうけいもじ）は、組み合わせて別の文字を作ることがあるようで、「天」という文字は「空」をあらわす文字と「雲（くも）」をあらわす文字を組み合わせて作られています。

.....

・・・第4問の答え・・・



(画像： <http://losu.org/world/the-many-different-types-of-toilet-signs> より)

答え：3.トイレ

＝解説＝

一番左はイランにあるトイレ、真ん中はポルトガルにあるトイレ、右はアメリカのSFミュージアムのトイレにあるひょうしきだそうです。

選択肢（せんたくし）はすべて男の人と女の人がわかれて入る場所（ばしょ）にしました。おふるや更衣室（こういしつ）みたいに、まちがうとたいへんなことになる場所には、標識だけでなく「男」「女」の文字を入れるようにしているみたいです。

.....

・・・第5問の答え・・・

答え：1.ウマこける

＝解説＝

英語（えいご）では“*No horse is so well shod that it never slips.*”（決してすべることがないほどしっかり蹄鉄（ていてつ）をつけたウマはいない）といます。ほかに“*Even Homer sometimes nods.*”（ホメロスのような人でもいねむりするような失敗（しっぱい）をおかす）という言いかたもあります。

日本語でも「河童（かっぱ）の川ながれ」とか「弘法（こうぼう）も筆（ふで）のあやまり」とか言いますね。

ちなみに、2と3はまったくのうそです。

.....

・・・第6問の答え・・・

答え：2.シカモー

＝解説＝

タンザニアでは、年下の人から年上の人へ「Shikamoo(シカモー)」とあいさつします。それに対して、年上の人は年下の人へ「marahaba(マラハバ)」とあいさつを返します。1才でも年がちがうと、このあいさつのしかたになるそうです。

.....

・・・ 第7問の答え ・・・

答え：3.トイレにいきたい

=解説=

小指は「トイレ」を意味するそうです。

来日したネパール人が、日本人の工場長にそのジェスチャーをしてもものすごくしかられたという話もあります。

またアメリカやヨーロッパなどでは、相手を侮辱する意味を持つこともあるそうです。中指や親指でも、指を立てるジェスチャーは相手を侮辱（ぶじょく）する意味を持つことが多いです。気をつけましょう。



きずせみなあ